

けやきだより

社会福祉法人みらい



今月号の写真

『新商品登場！チーズペッパークッキー』

こんにちは、けやき直販です！この度、直販から新商品ができました。商品名は、「チーズペッパークッキー」です。

けやき商品の新定番としての期待を込めて作りました。大人も子供も好きなチーズ味に決定し、形やペッパーの量を調整し、何度も試作し、香ばしく、切れのある味に仕上がりました。

利用者さんは、生地を計量工程、生地を袋に入れ、めん棒で均一に伸ばす工程、決められたサイズにカットする工程、箸で穴をあける工程、出来上がったクッキーの数を数えて袋に入れる工程などに携わってもらっています。新しい作業にワクワク、ドキドキしている様子でした。

コンセプトは、「甘くない！ペッパー香るおとなの味」です。ぜひとも、ご賞味ください。

今年も第19回けやき祭りを開催します。

例年、地域の皆さまに親しまれている「けやき祭り」を今年も11月15日（土）に昭和小学校体育館をお借りして開催いたします。けやき祭りは、社会福祉法人みらいが運営する施設の活動や取り組みを広く知っていただくとともに、地域の皆さまへの感謝を込めて行う交流イベントです。

当日は、事業所の利用者さんが日頃取り組んでいる作業や活動の展示・販売を行い、その成果をご覧ください。一つひとつ丁寧に作られた木工製品には、利用者さんの思いと努力が込められています。また、法人の自主製品として大人気のベグルやクッキー、ドーナツなども販売します。



飲食模擬店では、ジューシーな唐揚げやアツアツのたこ焼き、焼きそばなど温かい食べ物やお茶などのドリンクをご提供します。恒例となりました、豪華賞品の当たる抽選会も引き続き開催します。プラ板作りや射的などのゲームコーナーでは、お子さまが夢中になって楽しんでいただけます。

注目のステージイベントでは、法

人内の複数事業所の利用者で結成した「みらいの音楽隊」と、就職された元利用者の皆さんで結成したコーラスサークル「ブレーメン隊」が、練習を重ねた成果を、心を込めて発表します。



今年は新たな目玉として、いわくら観光振興会ミニSL部会によるミニSLの運行を実施予定です。体育館の外で実際に無料で乗ることもできますので、皆さんぜひ一度ご乗車ください。

お子さまから大人の方まで、楽しいひとときをお過ごしいただけること間違いなし！福祉をより身近に感じていただけるよう、職員や利用者が一丸となって準備を進めています。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

（写真は昨年度）

けやき職員 さいとう



事業所紹介 けやき可児

けやき可児の紹介をします。けやき可児では、主に就労継続支援B型のサービスを提供しており、利用者の方々が働きに来ています。

29名の利用者が朝元気に出勤し、自分が今日は何の作業を担当するのか各自がホワイトボードで確認するところからけやき可児の1日が始まります。

調理場は冷房が入っていてもとても暑いです。そんな中、調理班の利用者は注文を頂いたお客様に弁当を届けるため、おかずの量や向きを確認しながら盛り付けを行い、ランチの準備をします。



可児市役所内のけやきカフェにも出向き、盛り付けや洗い物、接客の作業を行っています。カフェで接客をする利用者は初めは緊張していても回を重ねるごとに声も大きくなり、表情に現れ、自信に繋がっています。

ドーナツ販売では1年前にドーナツ作りを始めた頃より手際が良くなり、スムーズに生地を揚げたり、袋詰めやシール貼りができるようになりました。今後利用者だけでドーナツ作りができるよう支援していきたいです。季節ごとの限定ドーナツも販売してるので是非購入してみてください。

サブコン班はネジ入れ、タオルたたみ、リーフレット等の下請け作業を行っています。最近では、利用者自身が検品することを取り入れて、複数の目で確認できるように取り組んでいます。納品する商品、相手先から届く資材も限られた利用者だけで運ぶのではなく皆で協力分担しながら運んでいます。



日々、利用者の意向に合わせ、班の垣根を越えて作業することもあります。お互いの仕事を協力し合いながら、利用者それぞれの得意なところに着目し、どう支援したら働けるか、利用者が生き生きと社会で活躍する場が広がるような支援を心がけています。

けやき可児職員 いとう



事業所紹介 かえで保育所

かえで保育所は、多治見市内で初の企業主導型保育所として平成29年に開設されました。企業主導型保育とは、従業員のお子様と「地域枠」として、共働き等で家庭内保育が困難な地域のお子様の両方を受け入れることができる保育施設です。



子どもたちが安心して過ごせる場所として、家庭的な温かさと専門的な保育を大切にしています。少人数ならではのきめ細やかな関わりを通じて、一人ひとりの個性を尊重し、笑顔いっぱい、自分らしく成長できる環境づくりを心がけています。



通いたての4月には、お母様から離れたくなくて大泣きしていたお子様たちも、すっかりニコニコ笑顔で園庭を走り回ったり、おもちゃで一生懸命遊んだりして過ごしています。生活や遊びを通して「やってみた

い」「できた」という気持ちを育むことを重視しています。散歩や戸外活動では、四季の移ろいを体験することで、感性や好奇心を育てています。また、異年齢での関わりを通じて、思いやりや協力する気持ちが自然に芽生えるのも、かえで保育所の魅力です。



保護者の方との細やかな連絡も大切にしています。お子様たちの成長や日々の様子を共有しながら、安心して預けられる関係づくりに努めています。

これからも、お子様たちの笑顔があふれる場所として、地域とともに歩み続けていきたいと思っています。

かえで保育所保育士 いがわはら





利用者紹介

みらいの輝人

～キラビト～

第2けやき

深谷 末男さん



Q、第2けやきで頑張っていることを教えてください。

A、PPバンド、パッキン、施設外の作業を頑張っています。施設外作業で行うトイレ掃除が楽しいです。洗車も昔やっていたので楽しいです。

Q、得意な作業はなんですか。

A、パッキンのシーラーと検品の作業が得意です。間違えないように注意しながらやっています。



Q、休みの日はどんなことをして過ごしていますか。

A、今は暑くて行けていませんが、暑くない時は散歩をします。30分以上歩きます。バンテリンドームに野球を観に行くこともあります。

Q、元気の秘訣を教えてください。

A、よく食べて、よく動いて、早く寝ることです。

Q、グループホーム（法人みらいのグループホームを利用中）ではどのように過ごしていますか。

A、テレビを観たり、コンビニへ買い物に行ったりしています。ご飯を食べるときはホームのみんなで話をしながら食べています。



職員のコメント

作業は常に前向きな姿勢で取り組んでくださいます。パッキンのシーラーや検品の作業になると普段よりもより一層真剣な表情になって取り組まれています。施設外の作業では、夏の暑い時期は汗を流しながら率先して動き、手を抜くことなく一生懸命作業に取り組む姿が見られています。また、職員や他の利用者さんが施設外作業から戻って来ると「ご苦労さん」と声を掛けて迎え入れてくださいます。そんないつも笑顔で、優しい深谷さんの周りには休憩時間になると、沢山の利用者さんが集まり、いつも笑顔でお話をして過ごしてみえます。

第2けやき職員 たにくち



～次代を担う職員との対談～



ごとう（平成26年入職）

Q この仕事を始めるきっかけは何でしたか？

ごとう：福祉全般に興味を持ったのは、祖母の介護が必要になった時にヘルパーさんや福祉用具の営業さん、ケアマネさんなどたくさんの方に支えられていることに気付いたのがきっかけです。私もその一端を担う仕事がしたいと思いました。

あだち：学生実習の際に、Uライフで実習をさせていただき、その時の楽しかった思い出やたくさん学べた経験から、もっと福祉の仕事をしたい、ここで働きたいとの気持ちが強くなりました。

Q 入職して大変だったことや苦勞したことはありますか？

ごとう：けやきカレッジで一般就労に向け、支援をしているときです。一般企業や連携機関等の外部とのやりとりが増えることによって、自分で判断しなければいけないことが増えました。しかし、その状況に自分の知識や経験が追いついていないと感じることがありました。知識のない自分が担当になったことで利用者さんが一般就労できないことに繋がってしまっていないのか常に不安

を抱えている時期がありました。だからこそ、情報収集や知識をつけることの大切さを実感できたので今となっては良い経験でした。

あだち：現在もですが、利用者さんそれぞれの個性や障害特性に対して、どんな支援をしていくと相手の心に響きやすいかを考えるのが、楽しくもあり、大変だなと思うことです。

Q これまで仕事をしてきてうれしかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

ごとう：けやきカレッジの配属が長かったため、その時の話ばかりになってしまっていますが、けやきカレッジを経て、就職した方と久しぶりに会ったときに仕事の話や自分で稼いだお金で出かけるなど楽しんでいる様子を聞いたときに嬉しいなと感じました。

あだち：利用者さんと一緒に「できた」「分かった」「楽しかった」思い出を共有していける瞬間が嬉しいなと感じます。



あだち（平成25年入職）

Q 仕事をする上で大切にしていることは？

ごとう：多角的視点を持つように心掛けています。自分自身が直接見えないことを判断するときや何かを変えるときなどいろいろな視点をもって検討しないと、誤った方向に進んでしまうことがあります。話をするご本人の主観はもちろん大切ですが、それ以外に大切なこともあるので、そのバランスを見極めて、判断や相談をするように意識しています。

あだち：言葉でのコミュニケーションが苦手な方もみえるので、視線や表情だけでなく、少しの身振りやその行動が出る状況などをよく観察して、「もしかしたらこう思っているかも」「自分だったら、どんな時にこの反応に近い感情を持つのか？」など推測することを忘れないようにしながら仕事をしています。

Q 将来の目標や挑戦したいことはありますか？

ごとう：事業所の職員ではありますが、利用者さんの人生を総合的にみた上で、より良い支援ができる人になりたいと思っています。そのためには、まだまだ知らない事、足りていない事がありすぎるので、一つずつ力をつけていきたいと考えています。今は第4けやきに配属されていますが、生活介護事業所での経験はまだまだ浅いので、経験する中で足りていないものを見つけ、埋めていきたいなと思います。

あだち：私は、利用者さんたちと関わって仕事をするのがとても好きなので、たくさんの楽しい思い出をいろいろな利用者さんたちと共有しながら働き続けていけるといいなと思っています。

課長 かとう



寄付等頂いた皆様の紹介

ご寄付をいただいた方
けやき保護者会

ボランティアをして頂いた方
多治見北高校生徒さん



福祉マメ知識

平成24年10月から、障害者虐待防止法が施行されました。法の目的は、障害者の権利及び利益の擁護です。聞いただけではちょっと難しい気がしますが、大事なことですので、おさらいです。

障がい者虐待は、養護者、障害福祉施設の従事者等、使用者による虐待を言います。類型としては、身体的虐待、放棄・放置、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の5つです。法律では、虐待を受けた疑いがある障害者を発見した人に、市町村に通報する義務を定めています。義務ですので、相談を受けた人を含めて必ず通報しなくてはなりません。それでもこの法律が始まった後も、深刻な虐待事案が起きています。

法人では、虐待を起こさない、起こさせないために日々研修等を積み重ねています。ふと言ってしまう「ちょっと待って」や「ちゃんとして」なども虐待につながるワードとして意識できるよう取り組んでいます。

皆さんもちょっと調べていただき、当たり前の知識として持っておいて頂けたらと思います。



編集後記

9月というのに、まだまだ多治見は暑いですね。この暑い中、施設の外でも毎日作業に取り組む利用者や職員たちには本当に頭が下がります。毎年どんどん暑くなっている気がしますが、熱中症での救急搬送などなく、頑張って作業を行ってくれています。

さて、先日はご縁があってFMピピの番組にゲスト出演させていただき、利用者の作業のことやけやき祭りの紹介をさせていただきました。短い時間でしたがお話をさせていただき、地域の結びつきの大切さを改めて実感した時間となりました。今後もいろいろな方々との結びつきを大切にしていきたいと思えます。

課長 かとう

社会福祉法人みらい けやきだより第49号

発行日 2025年9月
発行者 社会福祉法人みらい事務局
〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364
TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから